

韓国・グリーン病院より訪問 交流も深まりました



2月21日、韓国・グリーン病院より、イム サンヒョク Dr（労働環境研究所所長）、パク チャンホ企画調整室長が千鳥橋病院を訪問されました。

はじめに、イム Dr より鮫島院長へ贈り物が渡され、院長より歓迎のあいさつをおこないました。続いて、舟越 Dr より「HPH の概念と千鳥橋病院での実践」、共同組織の取り組みを、ふくおか健康友の会の大鶴会長と組織部北島課長より報告をおこないました。報告の合間にも「友の会の専任スタッフはいますか」「HPH で会員は増えるのですか」など、たくさんの質問が出され、活発なやりとりがおこなわれました。

シャルマンコーポでは、地域の保健室の取り組みを塚さんより紹介していただきました。千鳥橋病院と一緒に取り組むことで安心できていること、2週間に1回集まることで高齢者の安否確認にもつながっていることを報告していただきました。地域連携は特に興味のある分野であり、直接地域連携室を訪問してやりとりをおこないました。「連携するメリットは」「他の病院と競争にはならないのですか」などの質問が出されました。

イム Dr より「韓国の民主化運動とグリーン病院の歴史」と題した講演があり、韓国の自由と平等を目的とし、すべての人々が参加する民主化運動を紹介、五十嵐専務より福岡医療団の紹介をおこないました。



イム Dr より院長へ贈り物が手渡されました。



小西理事長と韓国の民主化運動について話が弾みます。



院内見学でもたくさん質問が出されました。



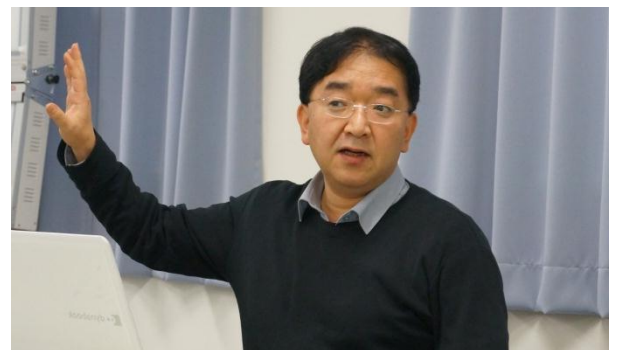
シャルマンコーポで地域の保健室の取り組みを聞きました。



ふくおか健康友の会の大鶴会長が班活動を紹介。



日韓の医療制度の違いはあるものの医療連携にはとても興味を持っておられました。



韓国の民主化運動を熱く語るイム Dr。

千鳥橋病院での HPH 活動や、医療活動を学ぶために訪問されたおふたり。共同組織、地域連携などそれぞれの分野でたくさんの質問が出され、それに答えるには予定の時間ではたりないほどでした。続きは懇親会にておこない、韓米 FTA について、イム Dr が取り組んだ「女性にイスを運動」（非正規の立ち仕事の女性の職場にイスをとという運動）についてもお話していただきました。

グリーン病院は労働者のたたかいの中で開設された病院で、貧しい人が多い地域にあります。めざしているものなど千鳥橋病院と共通する点もあり、今回の訪問でグリーン病院との交流を深めるきっかけとなりました。今後も交流を深め、日本と韓国での HPH 活動をさらに発展させていきたいと思ひます。